

## 「気になるサイン」にピンときたら通報を

次のような「気になるサイン」に気づいたら、「くるめ見守りほっとライン」へ通報してください。

### 新聞・郵便が溜まっている

新聞、郵便物、宅配の不在票などが郵便受けや玄関先に溜まっている



いつもは毎日回収されているのに、どうしたのかな？

### 洗濯物が干したまま

同じ洗濯物が、数日間干したままになっている。



夕方には必ず取り込んでいるのに、どうしたのかな？

### 訪問しても応答がない

留守でないとと思われるが、訪問時の声かけに応答がなく、配達物などがそのままになっている。また、約束した時間に訪問しても応答がない。



外出時に使用する押し車・自転車・自動車があるのに・・・

### 最近見かけない

ごみ出し、買い物、散歩などの姿を見ることがなくなった。



毎朝散歩していたのに・・・

指定日には必ずごみ出ししていたのに・・・

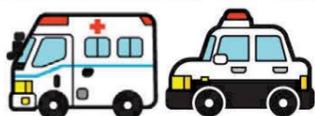
配食が置かれたままになっている  
配食サービスのお弁当が手を付けられずに玄関等に置かれたままになっている。

昨日からそのままになっている・・・



- 室内から応答はあるが、扉が開かない（起き上がれないようだ）
- 室内に在室しているのが明らかであるが、応答がない
- 応答がなく、室内から異臭・異音がする。

明らかな異常・異変が疑われる場合は、**消防署（119番）**や**警察署（110番）**へ緊急連絡を！



24時間  
受け付け

くるめ見守りほっとライン  
くるめ・みまもり・サン・キュー  
0942-30-9 3 3 9



セーフコミュニティ久留米

# くるめ見守り通信

第2号 平成28年3月発行 久留米市健康福祉部地域福祉課  
電話：0942-30-9174 FAX：0942-30-9715



久留米市  
イメージキャラクター

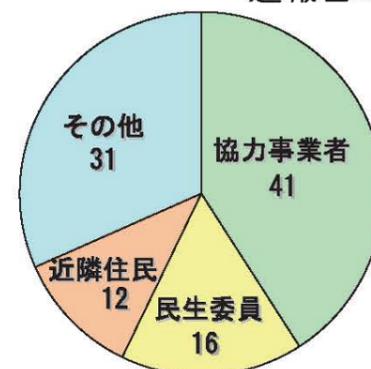
くるっば

この通信は、「くるめ見守りネットワーク」に協力していただいている皆さんに、見守り活動や「くるめ見守りほっとライン」への通報の状況などをお知らせするものです。

## ほっとラインへ寄せられた通報

「くるめ見守りほっとライン」には、平成25年12月25日の開設以来、平成28年2月29日現在で100件の通報が寄せられました。うち安否確認の通報が64件、その他の問い合わせなどが36件でした。通報していただいた方の内訳は右図のとおりです。協力事業者、民生委員、近隣住民の皆さんの他、協定を結んでいない事業者の皆さんからも通報が寄せられるなど、見守りの輪が広がっています。

### 通報者の内訳



協力事業者：41件  
民生委員：16件  
近隣住民：12件  
その他：31件  
合計：100件

## 通報後の対応

くるめ見守りほっとラインに通報をいただくと、市役所地域福祉課の専用電話（土日祝日、時間外は市役所夜間・休日窓口）につながります。

通報者の方からいただいた情報をもとに担当課で情報収集を行います。ここで、入院中であるなどの情報が得られ、安否の確認ができる場合もあります。

安否の確認がとれない場合、担当課で現地確認を行います。



## さまざまな通報が寄せられています

今後の見守り活動や通報の際の参考にしていただけるように、これまで「くるめ見守りほっとライン」に寄せられた通報の内容やその後の対応などを紹介します。



### ●遠方に住むご友人から●

2ヶ月に一度同窓生で集まっており、次の集まりのために数日前から連絡をしているが連絡がつかない。今までは折り返し電話をくれるなどしていたのでこのようなことはなかった。ご主人を亡くされ、子どももいない方なので心配で連絡をしました。

#### <対応>

本人の携帯に数回電話をかけたところ、本人が電話に出られました。交通事故に遭い緊急手術をしたため数日間電話にも出られない状態であったとのことでした。本人に許可を取り、通報者には本人が入院していることと本人からご連絡がある旨を伝えました。

### ●協力事業者の方から●

お弁当を届けに行ったところ、一人暮らしの高齢男性がベッドから落ちて身動きが取れなくなっているのを発見しました。意識はあり話もできますが、救急車を呼ぶことを拒否されているので連絡しました。

#### <対応>

民生委員に連絡したところ、普段から見守りをされている方であったので、同行してもらい、本人宅を訪ねました。数日間食事を摂っておらず衰弱した状態であったので、本人の許可のもと救急車で病院へ搬送してもらいました。

### ●民生委員の方から●

近所の方から、一人暮らしの高齢女性について、最近姿を見ないと相談がありました。

#### <対応>

民生委員と自宅を訪問したところ、郵便受けに4日分の新聞が溜まっていました。家は施錠されており、呼びかけにも反応がなく、カーテンの隙間から中を見ても暗くてよく見えませんでした。警察に連絡し、懐中電灯で中を照らして人がいないか確認してもらったところ、布団がかすかに動いたのがわかり、消防へ連絡し、救急車で病院へ搬送してもらいました。

## 研修会を実施しました

講師：速水 靖夫 氏

平成28年1月21日、福岡市から「見守りダイヤル」事業を受託している、特定非営利活動法人孤立防止センター理事長の速水靖夫氏を講師に迎え、協力事業者や地域で見守り活動をしている皆さんを対象とした研修会を行いました。

研修では、速水氏が今までに行ってきた安否確認の事例を実際の写真とともに紹介され、安否確認の際の現場確認のチェックポイントや普段の見守り活動のなかで集めておく役立つ情報等についてお話をされました。

また、自分の生活に極度に無関心となり、著しく生活環境と健康状態が悪化している状態のことで、孤立死の要因の約7~8割を占めるとも言われている「セルフネグレクト」についてと、セルフネグレクトに陥らせないために地域でできることについて教えていただきました。



講師：特定非営利活動法人  
孤立防止センター  
理事長 速水靖夫氏



研修会の様子。  
当日は84名の方にご参加をいただきました。

講義後に行なった意見交換では、なかなか支援を受け入れてくれない方への対応の仕方など、普段地域で行なっている見守り活動のなかで抱えている問題が挙げられ、速水氏からのアドバイスや、同じ問題を抱える方の意見などが挙がりました。

受講後のアンケートでは、97%の方に今後の見守り活動に役に立つ内容であったとご回答いただきました。また、セルフネグレクトをご自身の問題としても捉えられ、「地域のつながりを大切にしたい」「いつまでも見守る側でいたい」といったご意見も寄せられました。

## 出前講座「地域で孤立を防ごう」を実施しています

久留米市では、出前講座「地域で孤立を防ごう」を実施しています。

地域の皆さんで「孤立」や「孤独死」の背景、「地域のつながり」について考えてみませんか？

出前講座のお申し込みについては、下記担当までお気軽にご相談ください。

担当：健康福祉部地域福祉課  
電話：0942-30-9174  
FAX：0942-30-9715

内容：◆DVDアニメ「独居老人の孤独死」視聴  
◆地域からの孤立や孤独死を防ぐために私たちにできることを話し合う  
◆くるめ見守りネットワークの説明

対象：◆校区コミュニティ組織、自治会、地区の民生委員・ふれあいの会、老人クラブなどの定例会  
◆サロンのスタッフや参加者  
◆関心がある方のグループ など

